

## 高濃度ビタミンC点滴療法説明書

- (1) 「高濃度ビタミンC点滴療法」はガンの補助療法の一つです。この治療法はアメリカ、カナダ、日本の大学などで臨床試験が行われている治療法で、すでに医学論文で有効性に関する報告が発表されています。一般的に健康保険の範囲内のビタミンC点滴は1回2グラムです。本治療ではカンザス大学の治療プログラムに準じて1回50～100グラムのビタミンCを点滴します。最初は12.5グラムから始めて徐々に増量します。週に2回の90分の点滴治療が基本であり、病状によって点滴の回数・頻度は変わります。点滴治療をしない日はビタミンCとマルチミネラル・ビタミンの服用を推奨します。また、喫煙習慣をなくし、有機野菜や玄米などの健康的な食事や運動を含めたライフスタイルの改善が必要です。
- (2) ガンの治療は手術、抗ガン剤、放射線療法など既に治療効果が証明されている標準的な治療法が多くあります。「高濃度ビタミンC点滴療法」は代替医療のひとつであり、既に効果が認められている標準的治療法よりも優先するものではありません。
- (3) 当クリニックではガンに罹患した患者様が1) 標準的ガン治療法と併用する、2) 有効なガンの治療法が確立されていない、3) これまで受けてきた標準的な治療の効果が減弱、4) 副作用など何らかの理由で既存の標準的な治療を受けることができない、5) 手術待機時期の転移の予防などに「高濃度ビタミンC点滴療法」を推奨しています。
- (4) 本治療法の副作用は非常に少ないと言われています。血管穿刺部位の痛み、頭痛、吐き気などの症状が起きることがありますが、点滴速度を緩徐にすることで多くは解決されます。また、稀ながら腫瘍出血、腎機能障害、溶血の報告があります。
- (5) 高濃度ビタミンC点滴療法は健康保険が適用されず、治療、検査、処方全てが自費診療となります。
- (6) 「高濃度ビタミンC点滴療法」の効果はガンの種類、進行度、お客様の年齢、体力、免疫力によって異なります。この治療法は実験的な段階であり、ガンの縮小・消失・延命を確約することはできません。